

新たなダム型式を採用し、材料・設計・施工の合理化を図る

工事名：嘉瀬川ダム副ダム建設工事

概要：（従来）重力式コンクリートダム形式 ⇒ （新）台形CSGダム形式

効果：

- （設計の合理化）台形形状にすることで耐震安定性が向上し、堤体材料の必要強度を小さくできる。
- （材料の合理化）堤体材料の必要強度が小さくできるため、材料選定の幅が広がる。
- （施工の合理化）簡易な施工設備により迅速に施工ができる。

4.6億円 → 2.8億円に改善（改善額1.8億円 改善率39%）

台形ダム

（設計の合理化によるコスト削減）

CSG工法

（材料・施工の合理化によるコスト削減）

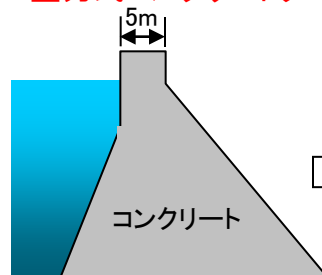
台形CSGダム

（台形ダムとCSG工法の優位性を併せ持つ）

（CSGとは）

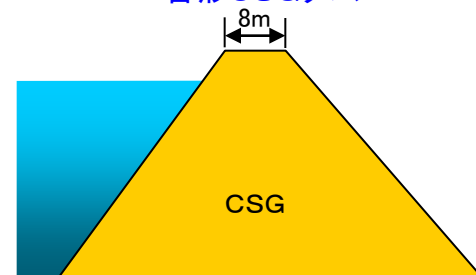
- 現場周辺で手近に得られる材料（土石）にセメント、水を加え
- 簡易な施設を用いて混合したもの

従来の形式
重力式コンクリートダム



従来の品質を確保したコンクリートを使用するため、材料単価が高価となる。

新たな形式
台形CSGダム



現地発生材（嘉瀬川ダム原石山の廃棄岩）を使用するため、材料単価が安価となる。